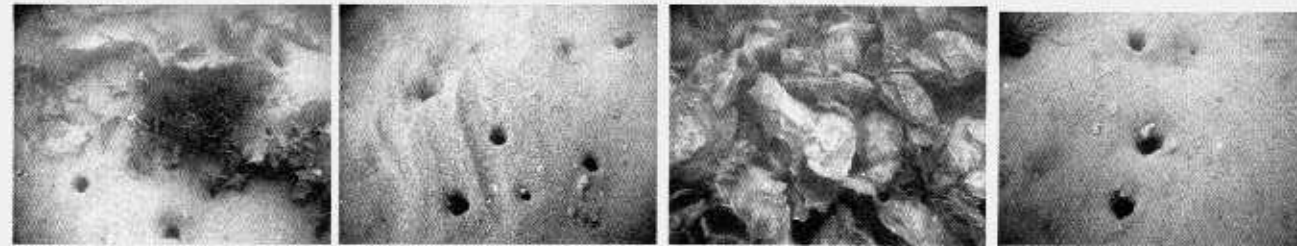
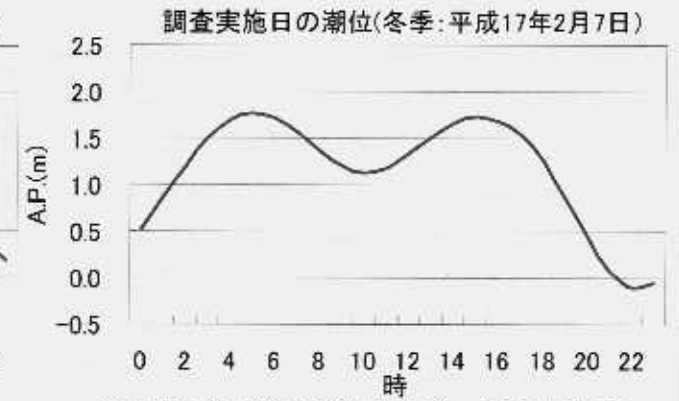
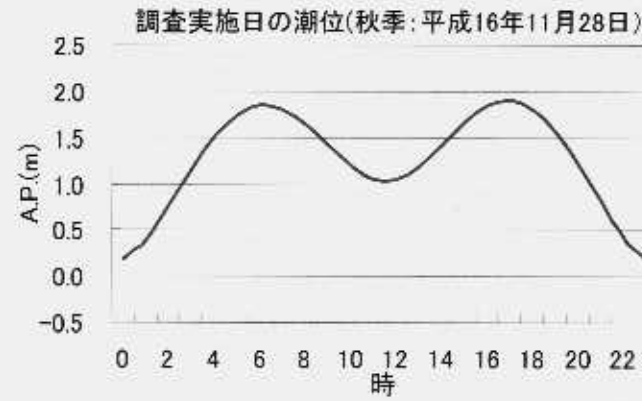


海底観察断面図（秋季及び冬季：測線L-5 続き）



オゴノリ(紅藻類)とアオサ属(緑藻類), 370m地点
 直径0.3~1cm生息孔(400m地点) アナジャコ類と推定される。
 カキ礁の拡大。(450m地点)
 直径1~2cm生息孔(450m地点) アナジャコ類と推定される。

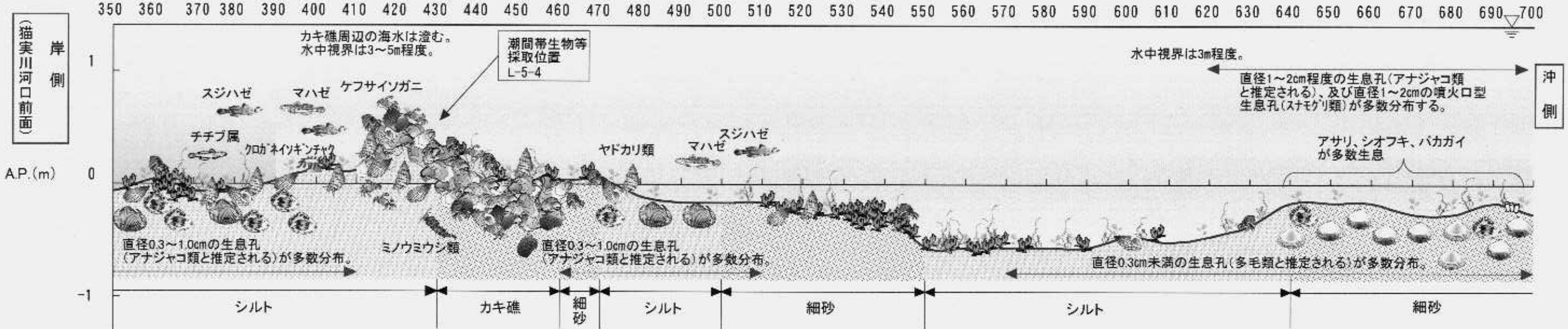


(気象庁東京港潮位観測所データより作成。)

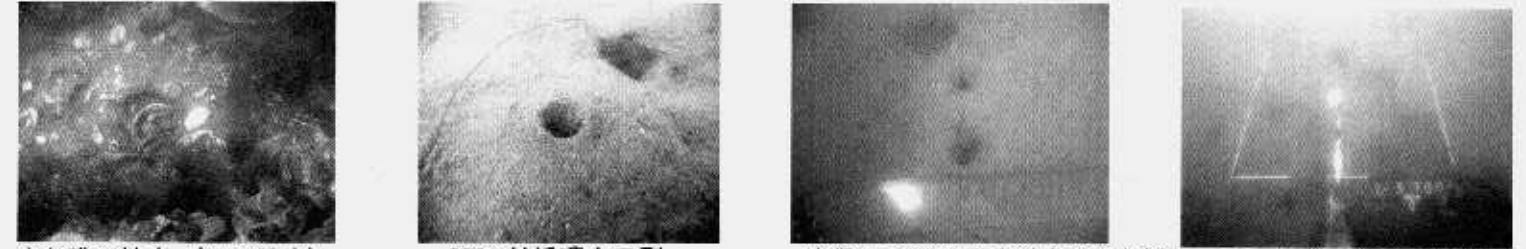


360m地点, 底質はシルト。アオサ属、ハネモ(共に緑藻類)が繁茂する。
 430m地点, カキ礁。
 520m地点, 底質は細砂。
 570m地点, 底質はシルトに変化。アオサ属、ハネモ(共に緑藻類)が繁茂する。
 650m地点, 底質はシルト。
 690m地点, 底質はシルト。

調査年月日: 秋季 平成16年11月28日9:40~14:25
 冬季 平成17年2月7日10:30~14:30 離岸距離(m)



カキ礁上には、アラムシロガイ、タマキビガイ、ヤドカリ類、ケフサイソガニ等が多数生息する。



カキ礁の拡大。(450m地点)
 550m付近噴火口型生息孔、直径1~2cm
 直径1~2cmの生息孔(620m地点) アナジャコ類と推定される。
 700m地点の海底の状況(細砂が広がる。アサリ、バカガイ等の二枚貝類が多数生息する。)

※図中の水位線は、調査時間中の平均潮位を示している。

- 貝類凡例: タマキビガイ, アラムシロガイ, サルボウガイ, アサリ, バカガイ, シオフキガイ
- 海草藻類凡例: アオサ属, ハネモ, オゴノリ